

- 1 なんのヘンテツもない朝。
かわつていいこと
- 2 自らの非を痛感し、カイコンの情にくれる。
はばひろいこと
- 3 コウハンな知識を持つ学者。
くやむこと
- 4 宇宙はボウチヨウし続けているという。
ふくれてひろがること
- 5 西欧人は非西欧の文明をヤバンとみなした。
文化が開けていないこと
- 6 放置自転車をテツキヨする。
とりのまかせ
- 7 すべてをホウカツした概念。
ひんがねのめい
- 8 王者にカカンに立ち向かう挑戦者。
思いきりがよく、ゆっかんさま
- 9 人生のキロに立つ。
わかれ道
- 10 富貴を求めず、セイヒンに甘んずる。
行いが清白であるために、ますしいこと
- 11 寮内の規律についてクンカイを垂れる。
まどしいまじめること
- 12 国家にレイゾクすることを拒絶する。
他の支配下にあること
- 13 姉には何かコンタンがあるようだ。
たぐひみ
- 14 ビボウロクに明後日の予定を書き込む。
わずれたときのために書きとめておくノート

変哲 悔恨 広範 膨張 野蛮 撤去 包括 果敢 岐路 清貧 訓戒 隸属 魂胆 備忘録

「変哲もない」は「取り立てて言うことでもない」
 「悔」――訓く(い)る
 「範」には「わく」「手本」という意味がある
 「膨張」とも書く
 「野蛮」は江戸時代におけるポルトガル人やスペイン人の呼称
 「徹底」の「徹」と混同しないように
 抽象的な事物に使われることが多い
 「敢」には「あえて…する」という意味がある
 「帰路」は「帰り道」
 「清」――訓きよ(い)
 「貧」――訓まず(しい)
 「戒」――訓いまし(める)
 「隸」――訓従(属)
 「魂」――訓たま(しい)
 「録」には「しるす」という意味がある

- 15 神社ブツカクを訪れると心が安まる。
寺の建物
- 16 早めにトウジヨウ手続きを済ませる。
飛行機や船のりこむこと
- 17 ゾウキ移植をめぐる議論。
体の内部にあるきかん
- 18 理不尽な仕打ちにフンガイする。
むやく怒(お)る
- 19 文武両道をシヨウレイする。
すすめはげますこと
- 20 説明を受けてもまだシャクゼンとしない。
疑いやうらみがとけてさっぱりするさま
- 21 ストレスはメンエキ力を低下させる。
感染症に対して抵抗力を獲得する現象
- 22 敵を完膚なきまでにフンサイする。
徹底的に打ち破ること
- 23 在庫イツソウのバーゲンが開催される。
いちだに払いのけること
- 24 年老いた両親をフヨウする。
生活のめんどうをみること
- 25 ポンヨウな人物だと軽んじられる。
へいばん
- 26 職権のランヨウが問題となる。
みだりにもちいること
- 27 ロがサけても言わないと誓う。
すじのように切れて二つに分かれる
- 28 彼は話術にタけている。
ある方面に優れている
- 29 母は他人には甘いが身内にはカラい。
厳しい
- 30 人里に下りてきた熊が人をオソう。
不意に危害を加える

仏閣 搭乘 臟器 憤慨 奨励 釈然 免疫 粉碎 一掃 扶養 凡庸 濫用 裂 長 辛 襲

「閣」には「高い建物」という意味がある
 「搭載」は「車などに荷物をのせること」
 「臟」には「はらわた」という意味がある
 「憤」――訓いきどお(る)
 「励」――訓はげ(ます)
 「釈然」としない」という形でもちいられることが多い
 「疫」には「流行病」という意味がある
 「粉」――訓こな(こ)
 「掃」――訓は(く)
 「扶」には「助ける」という意味がある
 「中庸」は「かたよらず徳当なさま」
 「乱用」とも書く
 「割」――訓分(割)など
 「長」には「成長する」「巧みになる」
 「辛」――訓し(び)つ
 「辛」は「きわめて手厳しきこと」
 「襲」――訓シユウ「地位などをうけつぐ」という意味もある

- 1 真に平等な社会の実現はシナン^{この上なくむずかしいこと}のわざだ。
- 2 自由ホン^{思うままに振る舞うさま}ポウな生きかたに憧れる。
- 3 経費がボウダイ^{非常におおきさま}な額になる。
- 4 敷地のイチグウ^{かたすみ}に犬小屋を建てて。
- 5 インフレがようやくチンセイ^{落ち着いてしずかなこと}する。
- 6 政界にケイキ^{引き続いておこること}する疑惑の数々。
- 7 仏のジヒ^{いつくしむ心}にすがって往生を願う。
- 8 カンペキ^{まったく欠点がないさま}な人などいない。
- 9 キカ学^{果てしなく長く続くこと}に興味を持つ。
- 10 図形や空間に関するせいしつ^{図形や空間に関するせいしつを研究する学問}を研究する学問
- 11 地球誕生以来のユウキユウ^{果てしなく長く続くこと}の時を思う。
- 12 亡き師の教えをメイキ^{心に刻みつけて忘れないこと}する。
- 13 突然の失職でホウト^{進むべき道}を見失う。
- 14 地下牢にユウヘイ^{人を建物の中などにとじこめること}される。
- 15 先住民のクジユウ^{物事がうまく進まず、くるしみ悩むこと}に満ちた人生をたどる。

- 至難^{「至福」はこの上なく幸福なこと}
- 奔放^{「東奔西走」は「ほうぼう」をかけること}
- 膨大^{「膨」一訓「ふく(らむ)」}
- 一隅^{「隅」一訓「すみ」}
- 沈静^{「鎮静」は「騒ぎや動転した気持ちを落ち着かせること」}
- 継起^{「継」には「続いて」という意味がある}
- 慈悲^{「慈」一訓「いつく(しむ)」}
- 完璧^{「壁画」の「壁」と混同しないように}
- 幾何^{「幾何」は「いくばく」とも読む}
- 悠久^{「悠」には「はるか」という意味がある}
- 銘記^{「座右の銘」は「常に身近に備えて戒めとする言葉」}
- 方途^{「途」には「道」という意味がある}
- 幽閉^{「幽」には「とじこめる」という意味がある}
- 苦渋^{「渋」一訓「しぶ(い)」}

- 15 物質的な繁栄の陰で人心がコウハイ^{あははてること}する。
- 16 ヘンキョウ^{度量がせまいさま}な考えを改める。
- 17 父は態度を急にコウカ^{意見や態度などが強引になること}させた。
- 18 サギ^{他人をだまし、金品などをとりあげること}を働いた犯人が自首する。
- 19 目標もなくダセイ^{いままでの勢いや習慣}で暮らしている。
- 20 梅雨時は細菌がゾウシヨク^{生物の個体や細胞がふえること}しやすい。
- 21 古代人が葬られたフンボ^{はか}の跡を発掘する。
- 22 藤壺は光源氏の亡き母にコクジ^{そっくりなこと}していた。
- 23 ジュンタク^{物などが豊富にあるさま}な資金を持つ企業。
- 24 劣等感を創作意欲へとシヨウカ^{感情などが価値あるものになること}させる。
- 25 こわれた屋根をシユウゼン^{つくろいなおすこと}する。
- 26 契約がリコウ^{決めたことを実際におこなうこと}される。
- 27 動物は自然界のオキテ^{きまり}に従っている。
- 28 息をツめて熱演^{ふさく}に見入る。
- 29 楽しい旅になるように心をクダク^{あれこれ思い悩む}。
- 30 言いたいことを言ったら気がスندا^{用が足りる}。

- 荒廃^{「廢」一訓「すた(れる)」}
- 偏狭^{「偏」一訓「かたよ(る)」}
- 硬化^{「狹」一訓「せば(まる)」}
- 詐欺^{「軟化」}
- 情性^{「欺」一訓「あざむ(く)」}
- 増殖^{「墮落」の「墮」と混同しないように}
- 墳墓^{「移植」の「植」と混同しないように}
- 酷似^{「墳墓の地」は「故郷」のこと}
- 潤沢^{「酷暑」は「ひどく暑いこと」}
- 昇華^{「酷暑」は「ひどく暑いこと」}
- 修繕^{「潤」一訓「うるお(う)・うる(む)」}
- 履行^{「固体が直接気体になること」という意味もある}
- 詰^{「縛」一訓「つ(くろ)(う)」}
- 砕^{「覆」一訓「は(く)」}
- 碎^{「音」テイ・ジヨウ}
- 済^{「息を詰める」は「呼吸を一時止める」}
- 音^{「音」サイ}
- 砕氷^{「砕氷」など}
- 満足^{「気が済む」は「満足する」}